

松蔭 校長室だより

2026年 4月 8日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井宣光

「子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう」 今年度の年間聖句（ヨハネの手紙3：18）

2026年度の学校がスタートしました

満開の桜花のもとで「学校開き」です。昨日、入学式を挙行了しました。テレビやインターネットのニュースでも「神戸市の歴史ある女子校が共学に。入学式には11人の男子生徒」と取り上げていただきました。AA（アスリート・アーティスト）/GL（グローバルリーダー）コースに男子生徒が加わりましたので、1F職員室前の生徒用トイレを男子用に改修したほか、3F講堂前のトイレを常時使用できるようにしています。また、女子更衣室、男子更衣室をそれぞれ本館北棟（保健室の上階 2F、3F）に設置しました。また、生徒の動線上の配慮から、HR教室の扉のガラス小窓に目隠しシートを貼り、廊下から教室内が見えないようにしました。新年度の始まりにあたり、気になる点やご心配などがございましたら、ご遠慮なくご連絡ください。以下は入学式の校長メッセージの内容です。

咲き誇る色とりどりの花々が皆さんの門出を祝福しています。本日、聖公会キリスト教の礼拝形式により入学式を挙行できますことを、連なる全ての方々と共に喜び、感謝したいと思います。高等学校の3つのコースの55名の入学生と併設中学からの内部進学生74名、中学校の2つのストリームの68名、合わせて197名が中学生活、高校生活のスタートの時を迎えました。

保護者・ご家族の皆様、ご入学をお祝い申し上げます。松蔭は創立以来134年目の春を迎えました。学院全体として「一粒のからし種」という言葉を合言葉としています。式次第に「からし種」という言葉があります。「からし種一粒ほどの…」とは、小さなこと、ちっぽけなことという意味ですが、聖書の「土に蒔くときには地上のどんな種よりも小さいが」という一節に由来します。続いて「蒔くと成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の蔭に空の鳥が巣を作るほど大きな枝を張る」とあります。「一粒のからし種」の言葉は、本学院のキリスト教主義教育のもと、成長する学生・生徒の姿を象徴していることをまずはご紹介いたします。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員は、皆さんを心より歓迎し、皆さんと共に頑張っていこうと決意しています。家族のほかにもあなたを愛し、応援する先生方がいます。また、明日の始業式では、皆さんを新しい仲間として迎える在校生がいます。どうぞ安心して通学してください。勇気をもって新しい友人をつくり、共に学び、笑い、苦難を乗り越え、歩んでいただきたいと思います。

男子生徒の皆さん。1世紀以上にわたり女子教育の専門機関であったこの学校に、初めての男子生徒として入学されました。入学する時には、友人ができるだろうか、新しい環境に馴染めるだろうかといった不安や心配が付きものですが、それ以上に大きな勇気が必要であったかと推察します。「ファーストペンギン」という言葉を知っていますか？「ファーストペンギン」とは、いつも集団で行動しているペンギンの群れの中から、天敵がいるかもしれない海中へ、餌の魚を探しに飛び込む最初の1羽のペンギンのことです。その勇敢なペンギンのように、初めてのことに挑戦する、勇敢でチャレンジ精神を持つ人のことを、敬意を込めて「ファーストペンギン」と呼んでいます。次代の松蔭の「ファーストペンギン」として、この場に集うすべての女子生徒の皆さんとともに、学校の歴史に新たな1ペ

ージを作ってまいりましょう。

さて、中学入学、高校入学にあたり、私からの皆さんへの最初のメッセージをお届けしたいと思います。3点お話しします。

第1は、この学校のスクールモットー「オープンハート、オープンマインド」についてです。日本語では「心を開いて、思いを自由に」と訳しています。このスクールモットーをいつも心に留めつつ、学校生活を送ってください。松蔭では、皆さんがクリスチャンであろうとなかろうと、この学校があなたに一番相応しい場所ですよ、と神様の手で導かれたのだ、と考えています。ですから、今この場にいる皆さん一人ひとりに対して神様はすでに心を開いて、分け隔てなく愛してくださっています。そして、その愛を受けている皆さんもまた、他者に心を開き、思いを自由に生きて行きなさい、というのです。

「私らしさ」という言い方をします。「私らしさ」とは、「自分が好きなものや大切にしたいもの」「得意分野」です。「個性」といってもかまいません。これが私だ、というものが一つでもあれば、「私らしく」生きていくことになります。あなたの隣に同級生が座っています。その同級生もまた「私らしく」生きたいと願い、「好きなもの」「大切にしたいもの」「個性」を持っています。「オープンハート、オープンマインド」というのは、心を開いて相手との距離を近づけるとともに、相手の「自分らしさ」や「好きな事、大切なもの」を認めてあげよう、ということです。ダイバーシティを認め合うと言ってもいいでしょう。自分らしさも相手の相手らしさも互いにリスペクトする。大切にしよう。オープンハート、オープンマインドの精神で学校生活を送られることを希望します。

2つめです。これからの松蔭生活で聖書のたくさんの言葉に触れますが、その一つに「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」という一節があります。これについて触れます。親切にしてほしい人は、人に親切にしてください。家族から大切にしてほしい人はお父さんお母さんや家族を大切にしてください。人から『お早う』『こんにちは』と挨拶をしてほしい人は、自分から挨拶しましょう。

逆に、人にして欲しくないことを、決して人にしてはいけません。「いじめ」「ハラスメント」は今や学校だけの問題ではなく、会社や地域、ネットを含め、社会問題化しています。SNS上の誹謗中傷やデマが社会問題となっています。トラブルになった後で、「軽い気持ちだった」「冗談だった」と言い訳をする場合がありますが、その前に、「してもらいたいと思うことを人にする。」「してほしくないことは、人にしない」。このことを心に留めておいてください。

3つめは、「祈ることが出来る人」になっていただきたいということです。この式典の外の世界のことを想像してみましょう。様々な事情で、皆さんのように入学式を迎えることができない人がいます。戦争、貧困、社会格差などの問題から、夢や希望をもって学校で学ぶことができない皆さんと同じ年齢の人が世界中にいます。悲しみの中にある人、病にある人、災害に苦しむひと、戦争、テロで愛する人を失ってしまった人。弱い立場にある人々が現実にあります。これからの松蔭生活では、様々な機会にそのような他者のために祈る時間を持ちます。人々に寄り添い、その心がどうぞ癒されるようにと、祈ります。そのような祈る経験の積み重ねは、心を豊かにし、人間性を高め、優れた人格をつくり上げます。松蔭時代にあなたの人間力を最大限に伸ばしましょう。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、あらためましてご子息・ご息女の本日の晴れ姿を、万感の思いをもってご覧になっている事と拝察いたします。ほんの10年前、15年前にはまだ危うげだった歩き方がいつの間にかしっかりとした足取りとなっていきましたが、成長につれ、時に見せる反抗的な態度に「親の希望通り、願い通りにいかないのが子育て」の言葉を実感され、お困りの時もあったことでしょう。先ほど「球根のうた」という讃美歌を歌いました。

「球根のなかには花が秘められ、さなぎの中から命はばたく。その日そのときをただ神のみぞ知る」

外からは見えないけれど一人ひとりの子どもは、その内面では、秘められた花を咲かそう、自らの力で飛び立とう

とする準備をしています。しかしその時がいつ来るのか、子供たち自身も気付いてはいません。神様がその時を定めています。時には歩みを止め、周りの大人をやきもきさせることがあるでしょう。冒険する姿にハラハラし通しの時もあるでしょう。もがき苦しむ姿を眼の前に、つい手を貸し、手助けしたくなることが多くあります。

大切なポイントは、土に水をやり肥料を絶やさず、息長く成長をじっくりと見守ってやることではないでしょうか。自分の力で立ち上がり、主体的に生きようと自分の足で歩き出すことができるまで待つことも大切なのではないのでしょうか。保護者の皆様の子育てをお手伝いしながら、成長に関わらせていただく、これからの松蔭生活です。私たち教職員は責任を以て、ご子息・ご息女をお預かりすることを約束致します。本校の教育活動に対しご理解並びにご協力賜ることを願ひ致しまして、式辞といたします。(2026年度松蔭中学校・松蔭高等学校入学式 校長式辞)



春休み点描 <4/2 校内の桜は満開に>

<4/3 高校入学生補習>

今年度の役職者、新任の先生、学校運営方針について

校内組織では管理職体制を変更し、教頭職（2名）を新たに設けました。新任の先生方も加わります。よろしくお願いいたします。

<2026年度 松蔭中学校 松蔭高等学校 役職者(教科・担当)>

- 校長：浅井宣光（社会）
- 副校長：澤田知之（社会）
- 教頭：大槻泰史（理科「中学 DS・高校 LS/AA」担当 「STEAM 教育推進」担当）
教頭：篠原弘樹（英語「中学 GS・高校 GL 主任」兼任 「英語グローバル教育改革推進」担当）
- 中学主任 DS 主任 中 1 上原美由紀（国語） 中 2 熊野友紀（国語） 中 3 岳藤瑞枝（国語）
GS 主任 篠原弘樹
- 高校主任 LS コース主任 高 1 丹羽尚（理科） 高 2 川中啓嗣（数学） 高 3 若木浩幸（社会）
AA コース主任 蕨野光（保体）
GL コース主任 篠原弘樹
- 各校務部長 宗教部長：馬場亮吉（英語） 教務部長：花岡隆人（理科） 生徒部長：馬場亜紗子（保体）
総務部長：芳田克巳（国語） 進路指導部長：中川雅博（数学） 入試広報室長：小林裕典（数学）
- チャプレン 成岡宏晃 坪井智
- 事務室 事務長：高瀬小織 事務次長：岡田知子
- OPTA 学校側副会長（澤田副校長） 会計（大槻教頭） 生活委員会（馬場亜） 文化委員会（芳田） 広報委員会（浅井）

*4月に着任された先生方です。

村上睦明（むらかみ のぶあき）先生（理科・常勤）
奥田豊弘（おくだ とよひろ）先生（社会・常勤）
モリス・キーラン先生（英語・常勤）

松田真奈美（まつだ まなみ）先生（英語・常勤）
大塚正子（おおつか まさこ）先生（音楽・常勤）
クリムク・ヘドウィグ先生（英語・常勤）

北風公基(きたかぜ きみもと)先生(社会 非常勤)

岸本浩(きしもと ひろし)先生(理科・非常勤)

野村敏郎(のむら としろう)先生(理科 非常勤)

水谷輝男(みずたに てるお)先生(理科 非常勤)

川島美咲(かわしま みさき)先生(保体 非常勤)

由良真由(ゆら まゆ)先生(養護 非常勤)

永井晃(ながい あきら)先生(「自習室 CAFE+」英語担当)

長田和彦(ながた かずひこ)先生(「自習室 CAFE+」数学担当)

*学校運営方針及び生徒指導の重点事項については教員会議で確認し、日常の教育活動に落とし込むことにしています。保護者の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

○2025年度松蔭中学校・高等学校 学校運営方針

- (1) スクールモットー“Open Heart, Open Mind(心を開いて、思いを自由にして)”の精神を
実践し、ダイバーシティを認め合う姿勢を育成する学校づくり。
- (2) あらゆる教育機会に、自ら学び、自ら考える姿勢を育成する学校づくり。
- (3) たがいの考え方や物事のとらえ方を尊重し、いじめ行為を許さない学校づくり。

○生徒指導の重点事項

- (1) 校内外での立ち居振る舞いと身だしなみ。
- (2) スマートフォンやデバイスの利用法と情報モラル。
- (3) いじめ行為(言動や SNS 等)の予防、早期発見、対応、再発防止。
- (4) 大災害発生への心がまえ(「大災害対応マニュアル」携行)